

図  
で  
見  
る



姫

路

経

済

姫路商工会議所

---

2016

# CONTENTS

姫路市の概要	2
姫路市のあゆみ	4
位置・気候	6
市域のうつりかわり	6
人口・世帯数の推移	7
産業構造	8
製造業	9
卸売業	10
小売業	10
港 湾	11
貿 易	11
金 融	12
雇 用	12
交 通	13
住 宅	13
姫路の食材	14
観 光	15
主要プロジェクト	16
景気動向調査結果	18
統計データランキング	20



## 中核市・姫路市の概要

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野の中央部にあり、気候風土に恵まれ、地理的条件も良く経済・文化の発展を見た地域です。

市制施行は、明治22年。

戦前戦中においては、軍都であり、また、文教の町、商工都市として大いに発展してきました。

戦後は製鐵を中心とした重化学工業による産業都市へと目覚ましい変貌を遂げ、特に昭和40年代以降はエネルギー基地の装備を経て成長発展しました。

また、数次にわたる近隣市町村の合併を推進しており、平成18年3月には周辺4町を編入合併し、人口53万人の新生「姫路市」が誕生しました。

現在は、さらなる発展を目指し、新たなプロジェクトに取り組んでいます。(主要プロジェクトは16・17ページをご覧ください。)

●市鳥＝シラサギ



●市花＝サギ草



●市木＝カシ



●市蝶＝ジャコウアゲハ



●市名のいわれ

播磨国風土記「日女道丘」(ひめじおか)に由来します。

人口	535,807人(平成27年10月1日現在)
世帯数	212,563世帯(平成27年10月1日現在)
自然増減数	▲562人(平成27年) 出生4,708人／死亡5,270人
社会増減数	▲1,024人(平成27年) 転入等14,220人／転出等15,244人
面積	534.47km <sup>2</sup> (平成27年10月1日現在)
事業所数	25,456事業所(平成26年)
製造業	1,055事業所(平成26年) 製造品出荷額等 2兆4,087億円
卸売業	1,320事業所(平成26年) 年間商品販売額 1兆342億円
小売業	3,622事業所(平成26年) 年間商品販売額 5,118億円
観光入込客数	1,190万人(平成27年度)
学校・児童・生徒数	小学校 69校／30,453人 中学校 40校／16,519人 高校 22校／14,603人
大学・短大数	大学 2校 短大 1校 (平成27年5月1日現在) (兵庫県「学校基本調査」)

姉妹会議所 台南市進出口商業同業公会(台湾)

姉妹都市(海外) シャルルロア市(ベルギー)①

フェニックス市(アメリカ)②

アデレード市(オーストラリア)③

クリチーバ市(ブラジル)④

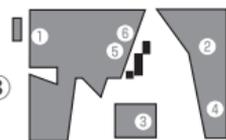
太原市(中国)⑤

昌原市(韓国)⑥

姉妹都市(国内) 鳥取市(鳥取県)

松本市(長野県)

姉妹城 シャンティイ城(フランス・ロワーズ県)



## 姫路市のあゆみ

- 明治22 市制施行(全国で39市、県下で姫路と神戸の2市)。  
当時市内の町の数101町、戸数4,815戸、人口24,958人、  
面積3.03km<sup>2</sup>。
- 27 山陽鉄道、姫路～龍野間開通。
- 27 播但鉄道、姫路～寺前間開通。
- 28 播但鉄道、姫路～飾磨港間開通。
- 29 陸軍第10師団設置。
- 41 市内電話開通。
- 大正 5 姫路駅～野里間乗合自動車運行開始。
- 11 姫路商業会議所開設(昭和29年4月1日、現行法による特殊法人姫路商工会議所となる)。
- 15 全国産業博覧会開催。
- 昭和 4 上水道給水開始。  
姫津線一部開通。
- 6 姫路城国宝に指定。
- 16 山陽電鉄網干線開通。
- 17 NHK姫路ラジオ中継所開設。
- 19 県立兵庫工業専門学校(現 兵庫  
県立大学)神戸で開校。
- 20 太平洋戦争第1次被爆(川西航空姫路工場、山陽皮革工場  
を中心に城東地区爆撃される)。  
第2次被爆(市の中心部を含む広範地域が焼失する)。
- 21 新しい姫路市誕生(姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干  
町、大津村、勝原村及び余部村を廃止し、その地域をもって  
新しく姫路市を置く)。
- 24 新制姫路工業大学開校。
- 26 市立動物園開園。
- 29 名古屋山霊苑に仏舎利奉迎(インド・ネール首相から贈られる)。  
山陽電車高架乗り入れ開始。
- 30 大手前通り(50メートル道路)完成。
- 31 第11回国民体育大会(本市で、高校ソフトボール、バレーボ  
ールを行う)。
- 32 市営中央卸売市場竣工。
- 33 国鉄山陽本線、明石～姫路間電化。
- 34 姫路港開港指定。  
国鉄山陽本線、姫路～上郡間電化。  
姫路民衆駅竣工。
- 35 NHK姫路放送局開設。
- 39 姫路城天守閣解体復元工事完成。
- 40 姫路～東京間即時通話開始。  
木材港(網干)開港。  
ベルギー・シャルルロア市と姉妹都市提携。
- 41 姫路大博覧会開催。  
市花「サギ草」制定。  
松本市と姉妹都市提携。
- 42 姫路港、特定重要港湾に指定。
- 47 山陽新幹線、大阪～岡山間開通。  
鳥取市と姉妹都市提携。  
市木「カシの木」制定。
- 48 播但連絡自動車道一部開通。
- 50 姫路国道バイパス全線開通。
- 51 アメリカ・フェニックス市と姉妹都市提携。



開設当時の山陽鉄道



戦後復興がめざましい御幸通り



改修中の天守閣

- 52 東洋大姫路高校、第59回全国高校野球選手権大会優勝。
- 55 国鉄播但線高架事業着工。
- 57 オーストラリア・アデレード市と姉妹都市提携。
- 58 県立歴史博物館オープン。  
市立美術館オープン。  
(財)西播地域地場産業振興センターオープン。
- 59 LNG基地操業開始。  
国鉄播但線高架完成。
- 60 工場立地促進条例施行。
- 61 大手前通りが「日本の道百選」に選ばれる。
- 62 姫路獨協大学開学。  
中国・太原市と姉妹都市提携。
- 63 姫路城とフランス・シャンティイ城、姉妹城提携。

平成元

- 市制100周年を迎える。  
シロトピア博開催。
- 2 日本城郭センター(城内図書館)オープン。
- 3 「鉄道高架化事業」本格始動。
- 4 姫路ケーブルテレビ「WINK」開局。
- 5 姫路城が日本で初めて世界文化遺産に指定。
- 7 1月17日阪神淡路大震災。
- 8 姫路市が「中核市」になる。
- 9 大型放射光施設「SPring-8」供用開始。
- 12 韓国・馬山市(現:昌原市)と姉妹都市提携。
- 13 市街地再開発ビル「イーグレひめじ」完成。
- 15 「環境・リサイクル経済特区計画」が特区第1号に認定。
- 16 観光ナビポートオープン。  
「ザ 祭り屋台 in 姫路」を開催。
- 17 JR「ひめじ別所駅」が開業。  
姫路ものづくり支援センター開設。
- 18 JR山陽本線高架開通。  
家島町、夢前町、香寺町、安富町の4町を編入合併。  
姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」開設。  
「のじぎく兵庫国体」を開催。
- 19 姫路商工会議所、台南市進出口商業同業公会との姉妹提携締結。  
近大姫路大学(現:姫路大学)開学。
- 20 JR「はりま勝原駅」が開業。  
第25回全国菓子大博覧会・兵庫「姫路菓子博2008」開催。  
JR姫新線・播但線高架化完了。  
姫路城、世界遺産登録15周年。築城400周年。
- 21 新観光案内所(姫路観光ナビポート)オープン。  
姫路市イメージキャラクター(しろまるひめ)誕生。  
姫路城大天守保存修理事業に着手。
- 23 姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」をオープン。  
「B-1グランプリ in 姫路」を開催。
- 24 姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」移転オープン。  
姫路商工会議所創立90周年記念式典・祝賀会を開催。
- 25 姫路駅北駅前広場にサンクンガーデン、展望デッキ等が完成。
- 26 大河ドラマ「軍師 官兵衛」放映開始。
- 27 「世界遺産姫路城マラソン2015」開催。  
姫路城グランドオープン。  
7市8町と連携中枢都市圏である播磨圏域を形成するための連携協約を締結。  
ひめじ創生戦略会議を設置。
- 28 JR「東姫路駅」が開業。



シロトピア博

## 位置・気候(平成27年)

平均気温／15.8℃  
最高気温／36.3℃  
最低気温／-3.6℃  
年間降水量／1641.0ミリ  
(資料:気象庁)



## 市域のうつりかわり

明治22年／市制施行  
昭和21年／飾磨市、広畑町、網干町、勝原村、大津村、余部村、白浜町と合併  
昭和29年／曾左村、余部村、太市村、糸引村、八木村と合併  
昭和32年／花田村、四郷村、御国野村、別所村が合併  
昭和33年／神南町、飾東村、的形村が合併  
昭和34年／大塩町が合併  
昭和42年／林田町が合併  
平成18年／家島町、夢前町、香寺町、安富町が合併

面積  
534.47km<sup>2</sup>

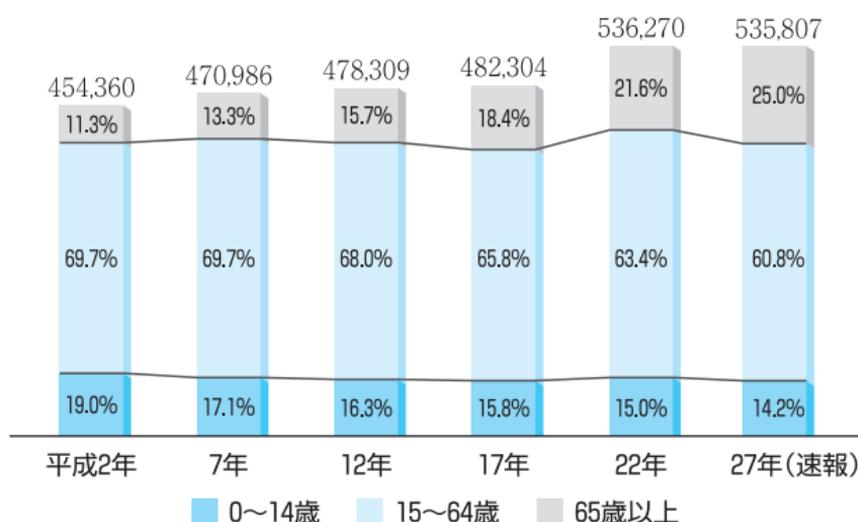
家島町  
平成18.3.27



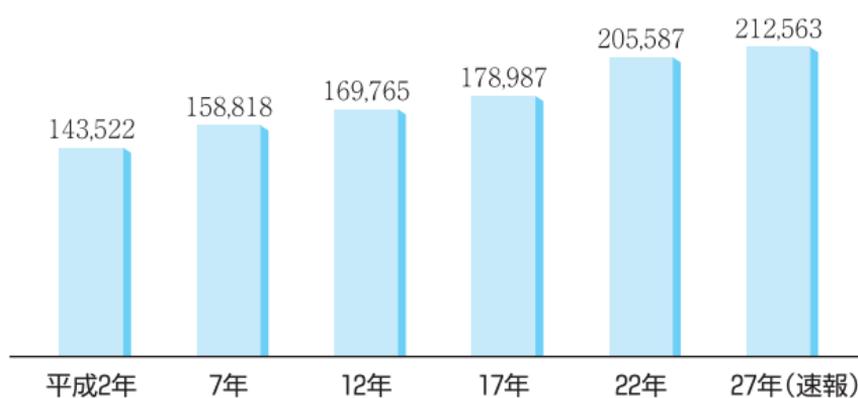
## 人口・世帯数の推移

※平成18年に4町と合併。

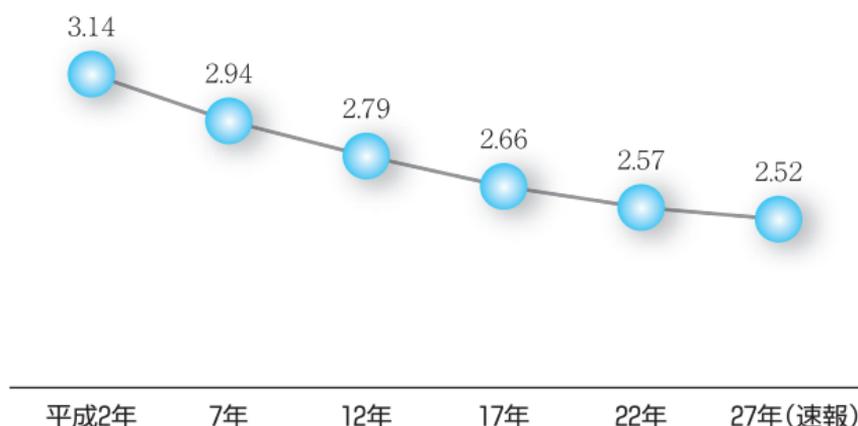
### ●人口



### ●世帯数



### ●1世帯あたりの人員(一般世帯)

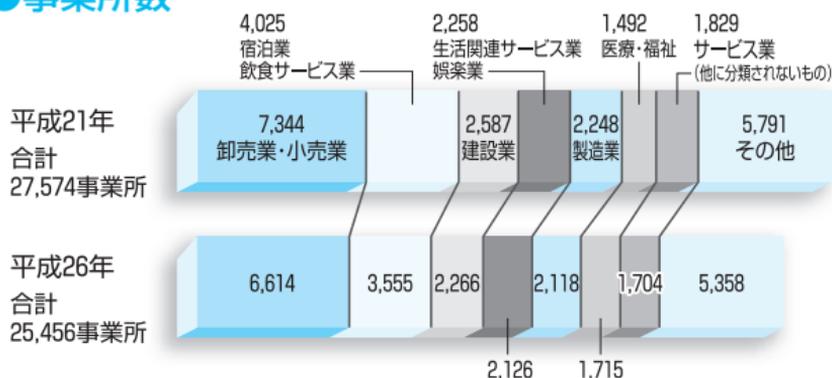


(資料：総務省「国勢調査」)

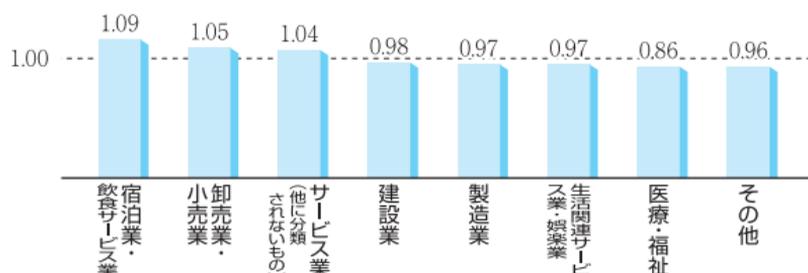
## 産業構造

播磨地域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの重工業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のもと、産業構造も変化しつつある。

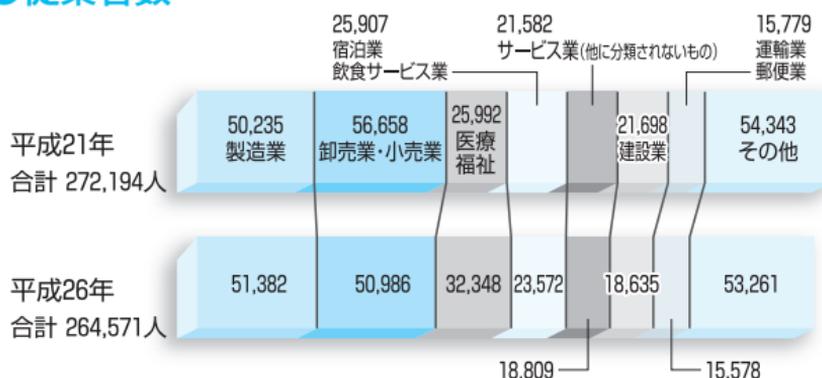
### ●事業所数



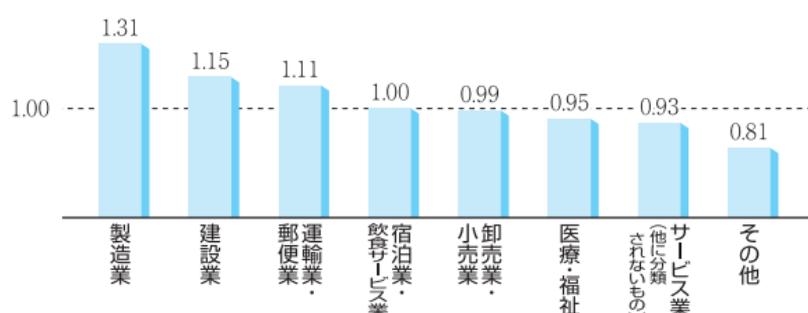
#### 特化係数(平成26年)



### ●従業者数

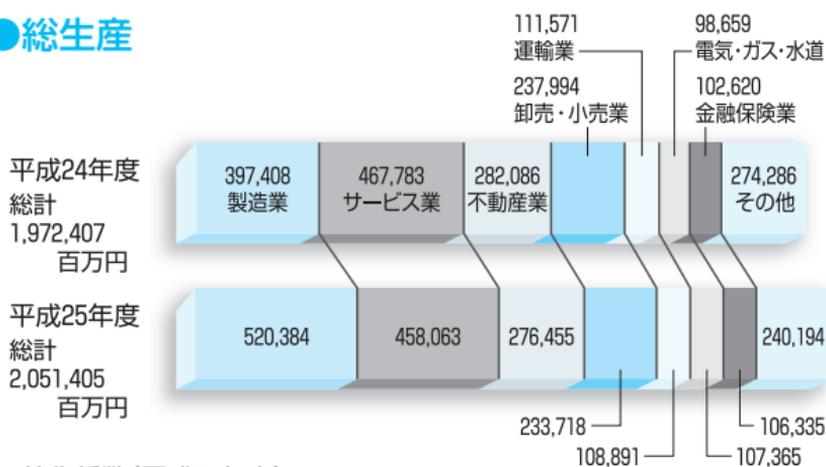


#### 特化係数(平成26年)

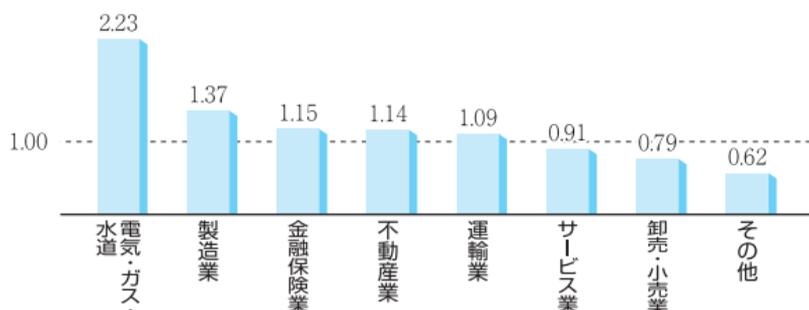


(資料: 総務省・経済産業省「平成21年経済センサス基礎調査」  
「平成26年経済センサス基礎調査」)

## ● 総生産



### 特化係数(平成25年度)



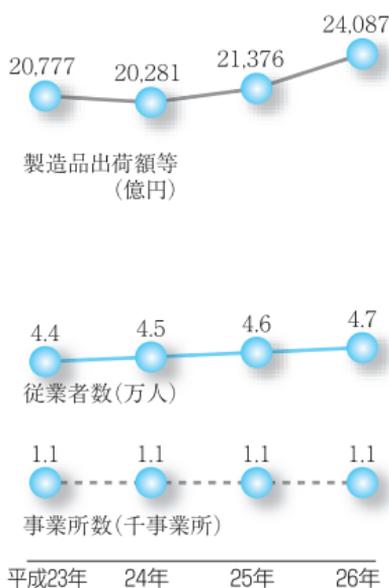
(資料：内閣府「国民経済計算」、兵庫県「市町民経済計算」)

特化係数：各項目について、姫路市の構成比を全国の構成比で割って算出する。数値が1より大きければ、全国に比べて特化している。

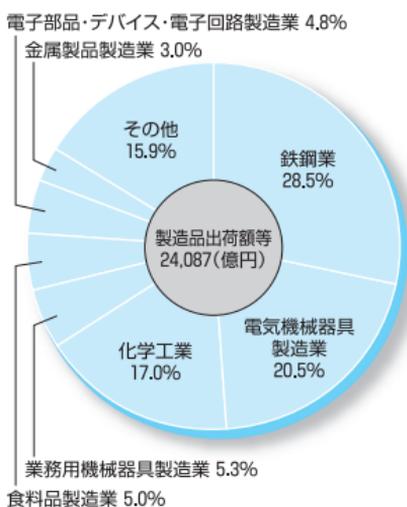
## ■ 製造業

(従業者数4人以上の事業所)

平成26年の製造業は、1,055事業所、従業者数46,540人となっている。また、製造品出荷額等は2兆4,087億円で、これを業種別にみると鉄鋼業が6,870億円と最も多く、続いて電気機械器具製造業が4,942億円、化学工業が4,089億円となっている。



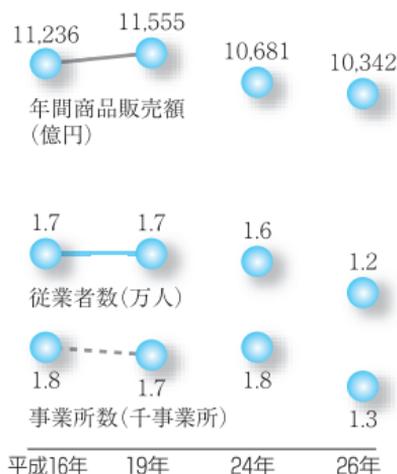
### 平成26年 年間製造品出荷額等構成比(%)



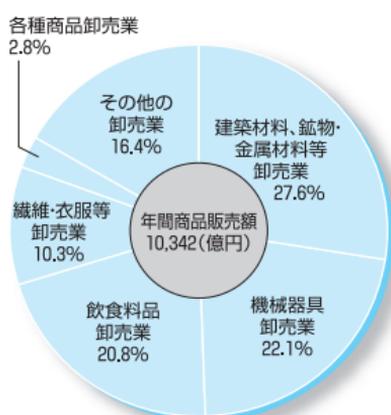
(資料：経済産業省「工業統計調査」)

## 卸売業

平成26年の卸売業は、1,320事業所、従業者数11,767人となっている。また、年間商品販売額は1兆342億円で、これを業種別にみると建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が2,857億円と最も多く、続いて機械器具卸売業が2,291億円、飲食料品小売業が2,149億円となっている。



平成26年 年間商品販売額構成比 (%)



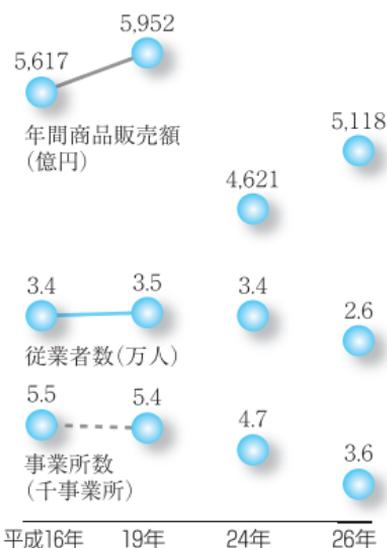
(資料：経済産業省「商業統計調査」)

※平成24年の数値は「平成24年経済センサスー活動調査」に基づく「姫路市統計要覧」より

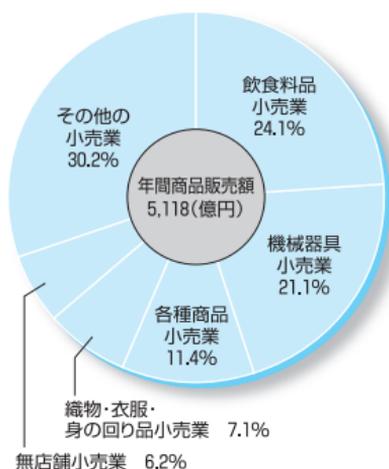
- ・「商業統計調査」と「平成24年経済センサスー活動調査」では、集計対象等が異なっている。
- ・「商業統計調査」の平成26年調査は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

## 小売業

平成26年の小売業は、3,622事業所、従業者数26,242人となっている。また、年間商品販売額は5,118億円で、これを業種別にみると飲食料品小売業が1,232億円と最も多く、続いて機械器具小売業が1,078億円、各種商品小売業が583億円となっている。



平成26年 年間商品販売額構成比 (%)



(資料：経済産業省「商業統計調査」)

※平成24年の数値は「平成24年経済センサスー活動調査」に基づく「姫路市統計要覧」より

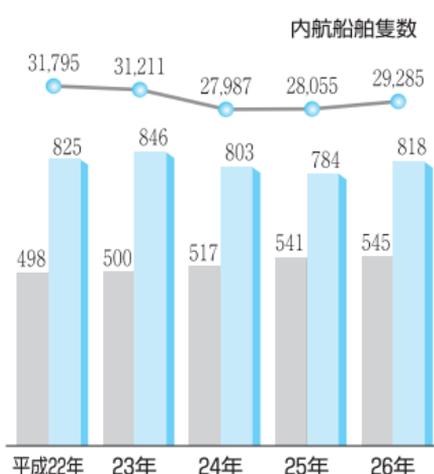
- ・「商業統計調査」と「平成24年経済センサスー活動調査」では、集計対象等が異なっている。
- ・「商業統計調査」の平成26年調査は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

## 港湾

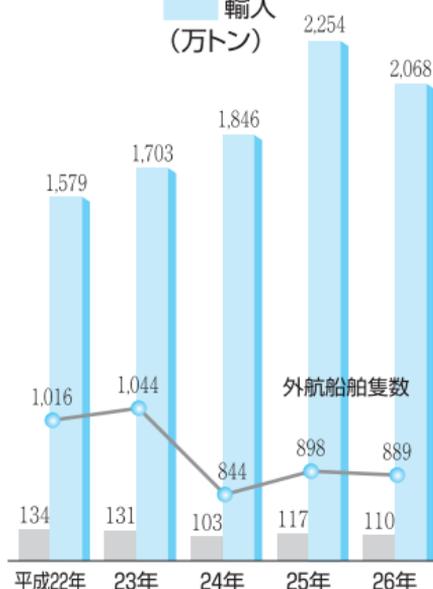
姫路港は、瀬戸内海の東部、播磨地域のほぼ中央に位置する国際拠点港湾であり、東西18kmにわたっている。姫路港が年間に扱っている海上貨物は、輸移出量655万トン、輸移入量2,886万トンで、背後地にある重化学工業地帯への原材料補給港としての割合が大きい。入港船舶数は、隻数30,174隻、総トン数2,854万トンとなっており、うち外航船舶数では、2.9%に過ぎないが、トン数では64.0%と半数以上を占めている。

### 出入貨物・入港船舶

国内貨物  
 ■ 移出  
 ■ 移入  
 (万トン)



外国貨物  
 ■ 輸出  
 ■ 輸入  
 (万トン)

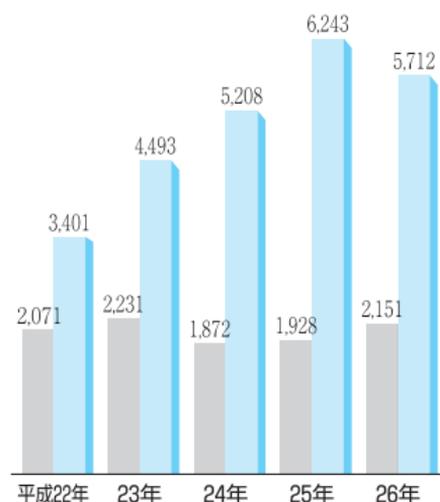


(資料：兵庫県「兵庫県港湾統計年報」)

## 貿易

### 貿易

■ 輸出  
 ■ 輸入  
 (億円)

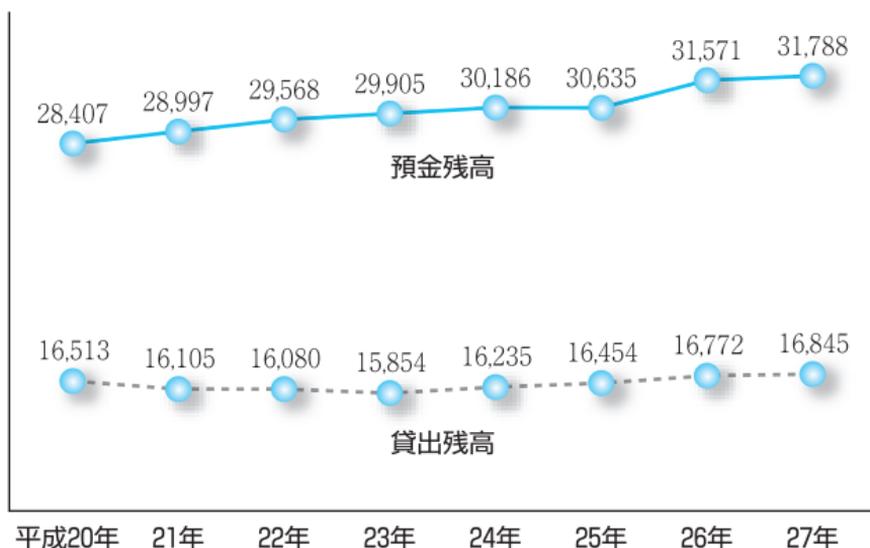


(資料：神戸税関「神戸税関貿易概況」)

## 金融

### 預金残高と貸出残高の推移(億円)

(普通銀行+信用金庫)

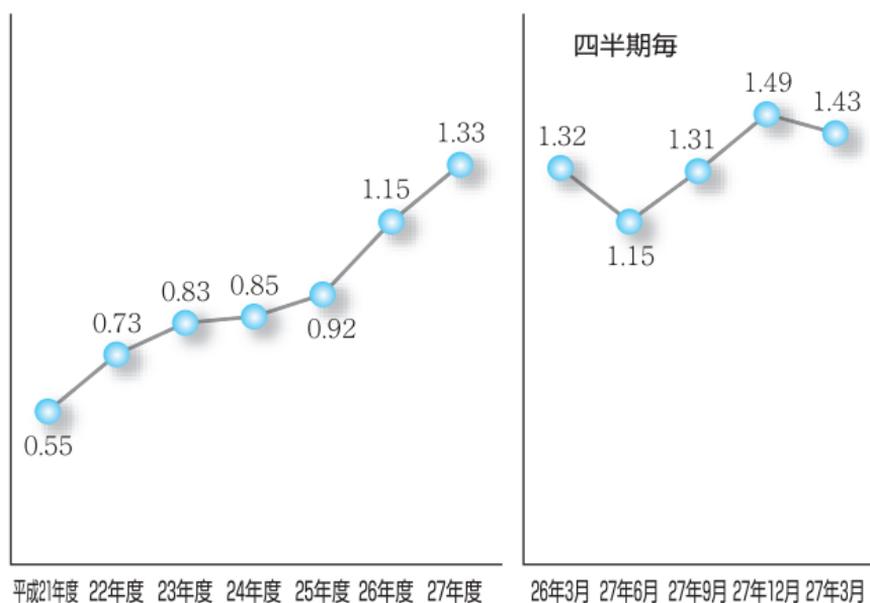


(資料：神戸銀行協会、各信用金庫)

## 雇用

### 有効求人倍率の推移(倍)

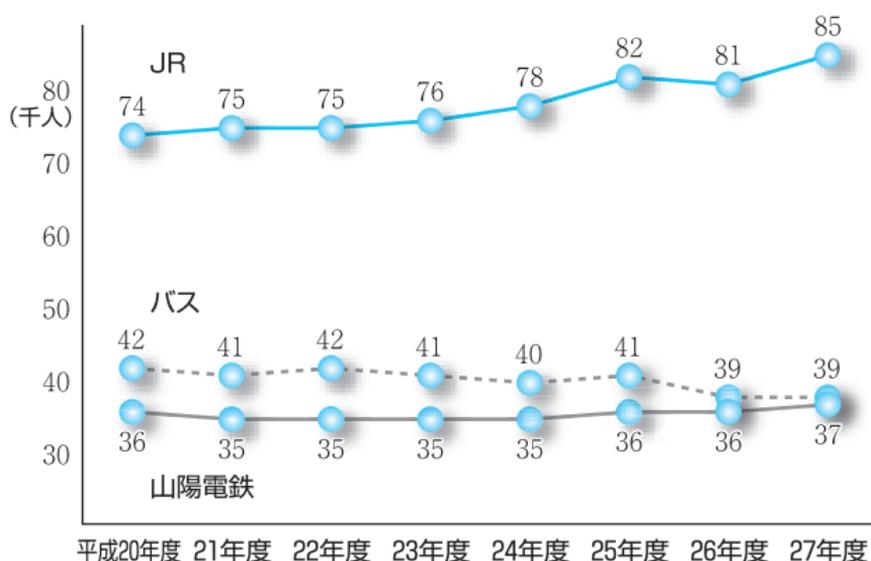
(一般+パート)



(資料：姫路公共職業安定所)

## 交通

交通機関の利用状況の推移（1日平均：千人）

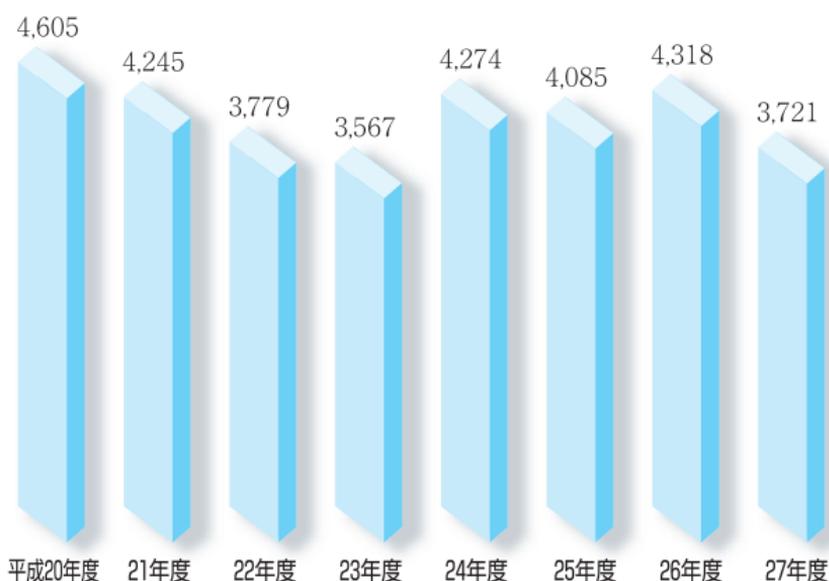


※JR・山陽電鉄・バス(市営・神姫)とも、市内各駅の合計で表示。  
平成22年3月27日にすべての市営バス路線を神姫バスに移譲しました。

(資料：JR西日本、神姫バス、姫路市)

## 住宅

新設住宅着工件数の推移(戸)



(資料：国土交通省「建築着工統計調査」)

## 姫路の食材

姫路市は、北は中国山地に面しており、南は瀬戸内海の家島まで、多様な風土と自然条件に恵まれている。

播磨平野は穀倉地帯であるとともにタケノコ、レンコン、ユズ、モチムギ、小豆、軟弱野菜、酒米等の特徴ある農業生産が盛んに行われ、豊穡な瀬戸内漁場では多種多様な魚介類等の漁獲が進められている。



だいこん	たけのこ	大麦・小麦	カキ
なす	レンコン	くり	ガザミ
ピーマン	しいたけ	ぶどう	エビ
キャベツ	えのき	いちじく	アナゴ
にんじん	採卵鶏	もも	サバ
トマト	プロイラー	いちご	タイ
ねぎ	肉用牛	茶	タコ
ほうれんそう	乳用牛	花壇苗	ノリ
しゅんぎく	丹波黒	うめ	
スイートコーン	酒米	きく	

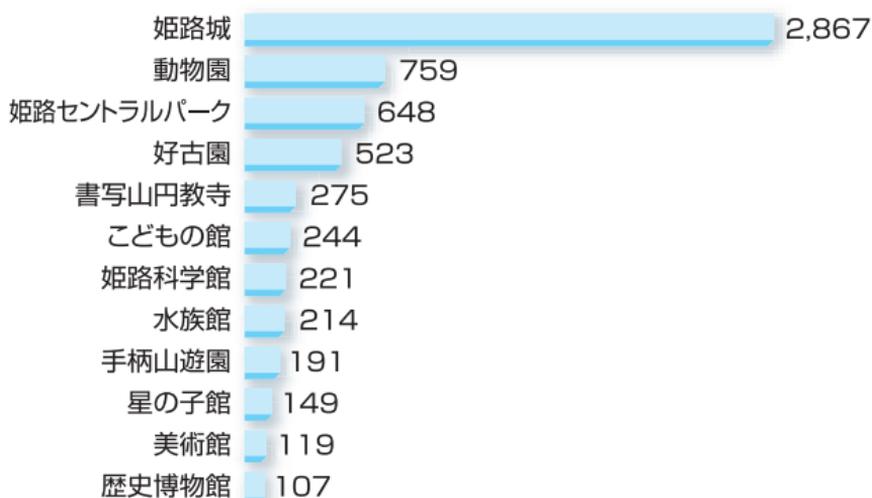
(資料：兵庫県)

## 観光

平成27年度に姫路市を訪れた観光客数は1,190万人を数えた。日本で初めて、世界文化遺産に指定された「姫路城」を中心に様々な観光施設がある。また、平成27年度の姫路城入城者数は、過去最多の286万7千人を数え、年度における入城者数が全国の城郭の中で、第1位となった。

主要観光施設利用数(平成27年度)

(千人)



(資料：姫路市「平成27年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書」)

## ■ 姫路の主要プロジェクト

### ● 地方創生

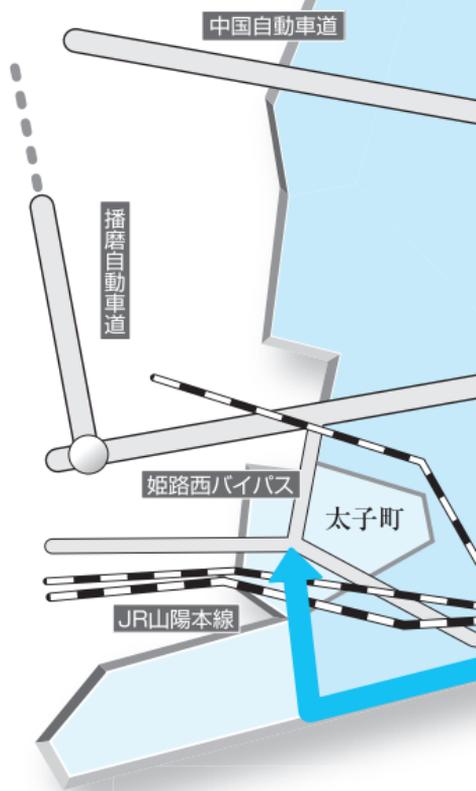
地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指しています。姫路市では、活力ある「ふるさと・ひめじ」を維持するため「ひめじ創生戦略」に基づき、「ものづくり力の強み、企業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化」等の施策・事業を推進しています。また、「連携中枢都市圏構想による圏域(※1)の活性化」にも取り組んでいます。

当所では、地域経済活性化に向けた調査・研究を行う地域経済研究所(仮称)の設立や、姫路ものづくり支援センターを中心としたものづくり産業振興のための事業に取り組んでいます。また、当所が中心となった播磨圏域内の7商工会議所での広域連携により、播磨ブランドの育成・発信に取り組んでいます。

### ● 「スポーツ都市・ひめじ」の前進

姫路市では、スポーツ推進に関する指標となる「姫路市スポーツ推進計画」が策定されました。東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、スポーツや文化、観光に関して幅広い取り組みが行われます。

当所では、多くの人を呼び込み、飲食・宿泊等を通じて地域経済の活性化に寄与する地域資源としてスポーツを捉え、地域のにぎわい創出のため、新たな観光資源となりうるトップスポーツ(女子サッカー・バレー)を支える仕組みづくりを推進しています。



姫路駅周辺地区整備事業  
「キャストE1」

### ● 中心市街地活性化

平成27年3月に新たな中心市街地活性化基本計画の認定を受け、4月から「人々が行き交いまちの鼓動が聞こえる城下(まち)」をテーマとして第2期計画がスタートしました。街なかでのにぎわい創出に向けた取り組みが強化され、中心市街地全体のさらなる活性化が図られます。

当所では、まちづくりステーション「街の駅」を中心として、商店街の支援や空き店舗対策、情報収集・提言を行っています。

※1 連携中枢都市圏構成市町：

(市) 姫路、相生、赤穂、加古川、加西、宍粟、高砂、たつの  
(町) 市川、稲美、神河、上郡、佐用、太子、播磨、福崎

## ●姫路駅周辺地区整備事業「キャスト21」

姫路駅周辺地区において、「播磨の玄関口としてふさわしいまち」を目指し整備が行われています。機能別にエントランス・コア・イベントゾーンの3エリアで構成されており、各エリアごとに異なるコンセプトで整備されます。

**エントランスゾーン：**JR姫路駅を核とする当ゾーンは、播磨の中核都市にふさわしい都市の顔として整備されました。駅ビルや北駅前広場が設置され、乗換えや移動の円滑化など交通拠点としての機能が強化されました。また、南駅前広場についても再整備が予定されています。

**コアゾーン：**エントランスゾーンの東からJR播但線までの当ゾーンは、播磨の中核都市という広い利用圏を対象とした新たな高次都市機能が集積する商業・業務拠点と位置づけられます。現在ではシネマコンプレックスを備えた商業施設が完成しました。今後は、都市型ホテルや専門学校の建設が予定されています。

**イベントゾーン：**コアゾーンの東に位置する当ゾーンでは、人々が回遊する新たな動線を形成するため、「知と文化・産業の交流拠点」といったコンセプトのもと、文化・交流施設やコンベンション施設、高等教育を支援する施設や産業支援拠点、また、新たな県立病院を設置するため、県立姫路循環器センター等で調整が進められています。

当所では、姫路駅周辺整備や都市基盤整備等のインフラ整備に対する提言を行っています。



## ●播磨臨海地域道路網

播磨臨海地域道路は、全長約50kmに及ぶ道路で、国道2号バイパスの渋滞解消の切り札として、整備が必要不可欠となっています。この道路を核として、播但連絡道路や国道2号バイパスとの接続道路などの南北交通を含めた道路ネットワークが、播磨臨海地域道路網です。

播磨臨海地域道路網建設促進協議会(※2)では、播磨臨海地域道路網の早期実現に向けて、姫路市政、兵庫県政、国政等行政機関に対し、要望活動を行っています。平成28年5月には、神戸市西区から太子町までの約50kmのうち3区間を優先して整備する方針が決まりました。

※2 播磨臨海地域道路網建設促進協議会構成団体：

(商工会議所) 姫路、明石、加古川、高砂 (商工会) 稲美、太子、播磨

# 平成27年度 第1～4四半期 姫路市内景気動向調査結果

## 調査要綱

### 1. 調査日

第1四半期調査：平成27年6月16日～30日	回答率 29.3%
第2四半期調査：平成27年9月15日～30日	回答率 29.1%
第3四半期調査：平成27年12月8日～22日	回答率 28.3%
第4四半期調査：平成28年3月16日～29日	回答率 26.0%

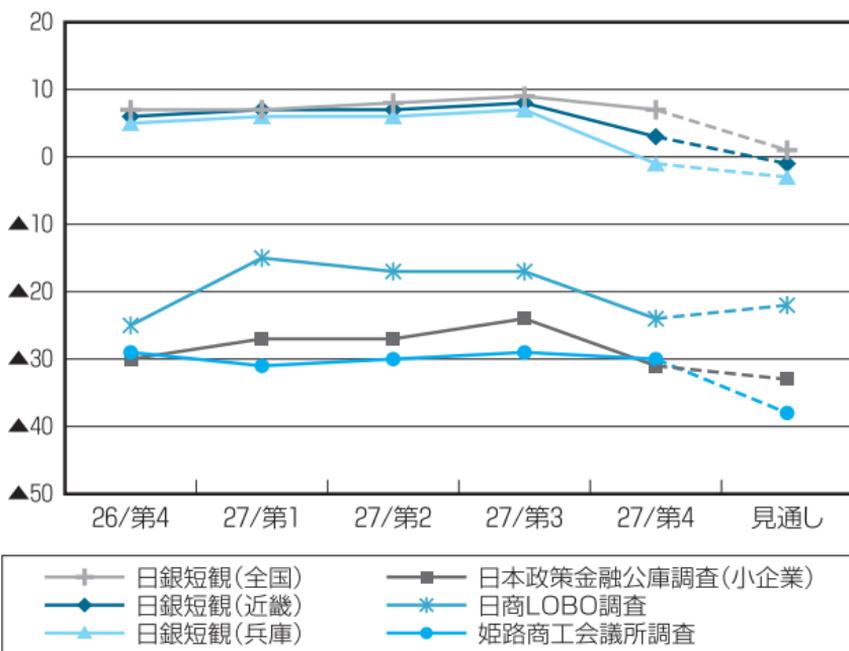
### 2. 調査対象企業

姫路市内に本店を置き、FAX番号登録のある当所会員事業所

**回答企業の構成** 規模別では、「従業者数50人以下」の事業所が全体の約90%を占めた。業種別では、「建設業」「製造業」「卸売業」「小売業」「サービス業」で全体の約85%を占めた。

## 日銀短観等と姫路の業況のDI

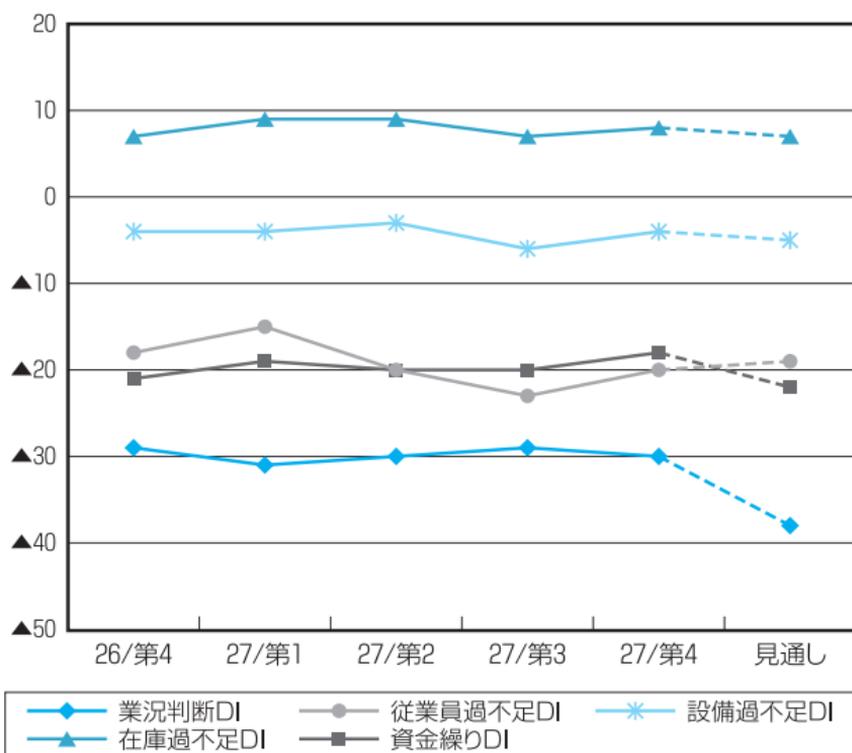
DI値：diffusion index（ディフュージョンインデックス）の略称。  
景況についての項目を「良い」割合から「悪い」割合を引いた値をもとに作成。



### ●日銀短観との比較

数値に開きはあるものの、日銀短観とほぼ同基調で推移している。

## 項目別DI値の推移



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	見通し
業況判断DI	▲31	▲30	▲29	▲30	▲38
従業員過不足DI	▲15	▲20	▲23	▲20	▲19
設備過不足DI	▲4	▲3	▲6	▲4	▲5
在庫過不足DI	9	9	7	8	7
資金繰りDI	▲19	▲20	▲20	▲18	▲22

### ●第4四半期 概況より

業況判断DIは、前期比1ポイント下降し、▲30となった。消費低迷が影響し、景気回復は足踏み状態となっている。先行きについては、当期比8ポイント下降の▲38と厳しい見通しとなっている。

### ●設備投資計画（「翌期に設備投資計画あり」と回答した割合）

第1四半期 13.5%      第2四半期 13.3%  
 第3四半期 13.9%      第4四半期 15.1%

### ●経営の関心事・問題点

「人材育成」、「業界動向」、「需要減少」、「資金繰り」、「競争激化」、「雇用」に高い関心が集まっている。

詳しい調査結果は姫路商工会議所ホームページ

(<http://www.himeji-cci.or.jp>) をご覧ください。

## 姫路市の統計データ・ランキング

ランキングの対象は813市区

### 面積・人口・世帯

	姫路市	
面積	130位	534.47km <sup>2</sup>
人口(住民基本台帳)	31位	532,949人
世帯数(住民基本台帳)	34位	225,317世帯

### 財政力

経常収支比率	65位	83.7%
公債費負担比率	371位	14.4%
実質公債費比率	237位	6.4%
将来負担比率	306位	25.1%
財政力指数	155位	0.85

### 経済力

事業所数	31位	25,055事業所
従業者数	33位	255,212人
上場企業本社	30位	16社
製造品出荷額等	14位	24,087億円
卸売業年間販売額	43位	10,342億円
小売業年間販売額	34位	5,118億円
大型店店舗数	25位	96店
大型店店舗面積	25位	484,369m <sup>2</sup>

### マンパワー・生活基盤等

労働力人口	30位	259,873人
昼夜間人口比率	213位	101.14%
納税者1人当たり所得	174位	322.1万円
世帯当たり乗用車保有台数	521位	1.25台
人口1万人当たり病院数・一般診療所数	397位	8.04所
人口1万人当たり医師数	271位	21.02人

(資料：東洋経済新報社「都市データバック2016年版」)



## 姫路商工会議所

---

〒670-8505 姫路市下寺町43番地

TEL.(079)223-6550

FAX.(079)288-0047